



鯨コミ

CS通信 (テスト配信1)

町ホームページに「コミュニティ・スクール (CS)」に関するコーナーを開設することになりました。「鯨コミCS通信」という形で、各校の子どもたちの様子や地域とのかかわりについて、不定期ですがタイムリーな情報を発信していきたいと考えています。どうぞご期待下さい。担当は教育委員会社会教育課の木村が行います。

さて、昨年度末の新型コロナウイルスの影響により、政府からの突然の要請で休校措置をとることになった町内の小中学校、卒業式・修了式等の式典も縮小実施という状況になり、保護者や地域のみなさんも無念千万の思いで受け止めたことと思いますが、一番不安な思いに駆られたのは紛れもない子どもたち自身ではなかったでしょうか。日々、取り上げられるコロナウイルス情報で生活が一変し、その対策に頭が一杯だったと思います。普通の学校生活に戻るのはまだ時間を

を要しますが、一日も早い収束を願わずにはいられません。写真は先般、引き続き縮小ムードで行われた入学式・始業式の様子です。小学校では真新しい洋服とランドセルに身を包んだ新1年生が、中学校では凛々しい制服姿の新1年生が笑顔の中にも緊張の面持ちで式に臨み、新しいスタートを切りました。

・新生児 西海小5人、舞戸小34人、鯨ヶ沢中60人 計99人

自己紹介 鯨ヶ沢町教育委員会 社会教育推進コーディネクターの
木村洋志(きむらひろし)です。鯨ヶ沢町出身で、現在、五所川原市在住です。西北管内で小学校の教員をしていましたが、縁あって昨年度から教育委員会社会教育に関する仕事をする事となり、地域の方々とかかわりの中で、改めて鯨ヶ沢の良さ、人の良さを感じている次第です。慣れ親しんだ鯨ヶ沢町に少しでも貢献できればと思っています。どうかよろしくお願いたします。趣味は登山、自然観察等、アウトドア全般です。今年は地元 磐岳 山行をしていますが、通勤途中、川尻の信号を過ぎた辺りで、日々その姿を変え、目に飛び込んでくる日本海、その姿に少しさせられています。



(西海小入学式)



(舞戸小入学式)



(鯨ヶ沢中入学式1)



(鯨ヶ沢中入学式2)

今年度スタートのコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)も、コロナ対策の影響で、具体的にはまだ動いていません。今のところ、7月中旬を目処に第1回目の学校運営協議会を考えていますが、いずれにせよ、今後のコロナ情勢を視野に入れ進めていきたいと考えています。新年度を迎え新たなスタートを切るべく春4月、感染防止に向け学校でも家庭でも一人一人が意識しながらコロナ対策をしていきたいものです。この「鯨コミCS通信」は今のところテスト配信という形での提供になりますが、

記念すべき第1号は最初の学校運営協議会を終えてからと考えています。地域全体で学校に関わり、「地域とともにある学校」がコミュニティ・スクールのコンセプトです。人づくり、地域づくり、町づくりを目指しながら、この制度の良さが浸透していけばと思っています。